

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ふくら勇氣 (ふくらトータルケア森山)		公表日		2026年3月30日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		3	0	運営基準以上のスペースが十分にあります。	支援室内を整頓しながら活動スペースの確保に心がける。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		3	0	定員基準の配置を行っております。急な職員の欠席などがあった際には送迎のご協力を仰いだり、他事業所からのヘルプを依頼して対応している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		3	0	誰もが過ごしやすい環境作りに努めております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		3	0	毎日掃除と安全点検を行い環境を整えております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		3	0	子どもの様子や状況によって柔軟に対応しております。急な発熱等の体調不良などの時や、音など過敏な利用者に対し、適宜別室で対応出来ている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		3	0	日々の申し送りや毎月ミーティングでの話し合いにて支援の振り返りや意見交換しております。面談結果など共有し、適宜カンファレンスを行っている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		3	0	事業所評価にてご意向を把握できるようにしております。現状で出来る限り対応できるよう努力している	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		3	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		2	1	現時点では行っておりません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		3	0	定期的に支援に必要な様々な研修に参加しております。	
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		3	0	作成してHPIに公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		3	0	保護者からの聞き取りと子どもの様子、障害特性から理解し、個別支援計画を作成しております。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		3	0	職員間で情報共有を行い、共通理解をしたうえで支援計画を作成しております。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		3	0	毎月のミーティングや日々の申し送り等で情報共有し、共通理解をしながら計画に沿った支援提供しております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		1	2		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		3	0	面談や日々の話しからどのような支援が必要なのかをスタッフ間で情報共有しながら支援内容を設定しています。	

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	0	月毎の担当職員を割り当てて行っています。また必要に応じて全職員で相談をして立案しております。	飽きのない活動計画が今後の課題である。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	0	固定化しないようにアイデアを出し合い活動内容を立案しております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	1	打ち合わせはできていないがラインワークスを使い、情報共有できるような仕組みになっている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	1	2		記録に関しては十分で無い部分があり、今後の課題である
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	1	2		計画の見直しがありできていない為、今後の課題である。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3	0	複数組み合わせで行っております。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	0		
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	0	学校の先生とコミュニケーションを取り、利用者様の情報共有できるようにしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	0	移行支援会議を開き、関係機関との情報共有している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	2	会社のアドバイザーに助言を頂いたり、会社全体での勉強会は行っている。	地域の支援センターとの連携はとれていない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	3		現時点ではできていない。地域との交流の場を作っていくことが課題。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	2		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	3		現時点ではご家族が参加できる研修等は行っていない。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	0	日々の会話の中で悩みや困りごとはスタッフ間でも共有し、助言できるところは行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	1	運動会などのイベントを実施。茶話会など今後、機会を増やす必要はあるかも知れない	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0	現時点で出来る努力はしている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	3		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	0	消防の指導の下、消火訓練や避難経路等のアドバイスを受けています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3	0	契約の際に子どもの生育状況等を記載してもらい、職員にも周知しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	0	契約の際に災害時等の動きについて周知し、また、2カ月に一回災害伝言ダイヤルを使い、ご家族にも体験頂いている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	1	ヒヤリハットを振り返り事業所ミーティングや必要時に情報共有や話し合いをしております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0	定期的に外部や内部で虐待防止の研修があり、参加して振り返りを行っております。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	0	身体拘束について定期的に研修を行い職員に周知しております。		